

第七十三回
帝國議會
貴族院

市街地建築物法中改正法律案特別委員會議事速記録第二號(一)

昭和十三年三月七日(月曜日)午後一時三十七分開會

○委員長(子爵會我祐邦君) 只今カラ前回

ニ引續キマシテ委員會ヲ開キマス、御質問
ガゴザイマシタラ……

○菊池恭三君 是ハ何デスカ、大體ノ區別
ハ、斯ウ云フモノハ一緒ニシテモ宜イ、斯
ウ云フモノハ一緒ニシテハイカスト云フ大
體ノ何ガアリマスカ

○政府委員(松村光磨君) 御參考ニ參考ト

云フノヲ差上ゲテ置キマシタガ、其ノ中ニ
住居専用地區内ニ於テハ斯ウ云フモノヲ建
テサセヨウ、斯ウ云フ工業地區ニハ斯ウ云
フ建物ヲ禁止シヨウト、斯ウ云フコトヲ書
イテ居リマスノデゴザイマスガ、之ヲ御覽
戴ケレバ大體斯ウ云フコトヲ標準ニシテ
ヤッテ居ルト云フコトガ御分リニナラウカ
ト思ヒマス、併シ是ハマダ參考案デゴザイ
マシテ、確定的ナモノデハゴザイマセスノ
デ、能ク御意見等モ承ッテ、法律案ガ通過シ
タナラバ更ニ研究ヲ加ヘテ確定致シタイト
考ヘテ居ルノデゴザイマス

○菊池恭三君 同ジ工業デモ煙ノドン／＼
出ル所ガアリ、ソレヲ又嫌フ仕事ガアリマ

スネ、サウ云フノヲ隣ヘ建テラレテハ此方
ハ困ルカラ、サウ云フノハ政府ノ方デ干涉
爲サル御意郷デスカ

○政府委員(松村光磨君) 御尤ナ御質問デ

ゴザイマシテ、危險若シクハ有害ナ瓦斯ヲ
發生スル工場ガ實ハゴザイマスノデ、風ノ
工合ニ依ッテハ、其ノ瓦斯ガ來ルト云フト、
一方ノ工場ニ非常ニ被害ガ及ブト云フヤウ
ナコトガ能クアリマシテ、東京デモ現ニ江
東方面ニサウ云フコトガアリマシテ、困ッ
例ガアリマス、ソレニ付キマシテハ、現在

ノ建築法ノ第四條ノ第二項ニ危險有害ナル
工場ニ付キマシテハ、地區ヲ指定シテ、其
處デナケレバ造ッテハイカスト云フヤウニ、
地區ヲ設定シ得ルヤウニナッテ居リマス、東
京デハ此ノ地區ヲ實ハ指定致シテ居リマス、
大體ソレデ行キタイト云フコトデ、或程度
迄東京デハ色んな各業者ノ御意見等ヲモ承
リマシテ、其ノ地區ヲ決メマシタノデゴザ
イマス、大阪ニハマダ其ノ地區ハ指定シテ
ナイト思ッテ居リマスガ、大阪ニ付キマシテ
モ、サウ云フモノヲ指定シタラドウカト云
フ意見ガ實ハアルノデゴザイマス、處ガソ
レヲ指定スルコトガ非常ニ地方ニ依ッテハ

嫌ハレル所ガアリマシテ、サウ云フモノヲ
自分ノ處ニ指定サレテハ困ルト云フヤウナ
意見モアルノデスカラ、今指定シ兼テ居リ
マス、併シ段々工場ガ殖エテ參リマス、

サウ云フ問題ガ段々多クナルト思ヒマスカ
ラ、是ハ地方々々ノ事情ニ應ジマシテ研究
シテ戴キマシテ、地方ノ關係者其ノ他カラ
能ク意見ヲ聽イテ、サウ云フ地區ノ必要ガ
アレバ決定シテ行キタイト斯ウ考ヘテ居リ
マス

○男爵加藤成之君 此處ニ空地地區ト云フ

ノガアリマスガ、之ニ付テモウ少シ實例ノ
ヤウナモノヲ説明シテ戴キタイト思ヒマス

○政府委員(松村光磨君) 只今東京市ノ郊
外ニハ殆ド住宅専用ノ地域ガ相當各方面ニ
ゴザイマス、斯ウ云フ方面ニ實際ニ建テラ
レマシタ建築面積ト其ノ敷地トヲ色々實際
取調ベテ居リマスガ、東京市内ノ最モ良イ
住宅地方面デハ、大體敷地百坪ニ付キ建坪
三十坪位ガ大多數ヲ占ムル地域ガ相當ゴザ
イマス、デ斯ウ云フ東京市ノ郊外ノ、良イ
此ノ住宅地ヲ、將來成ルベク住宅ガ混ミ合
ハナイヤウニ敷地一パイニ家ヲ建テルコト
ヲ成ルベク避ケルヤウニシテ行クコトガ、

衛生上ニモ非常ニ必要デアルシ、又防空ト
云フ見地カラ考ヘマシテモ、ソレガ非常ニ
必要デアルト思ヒマスシ、火災等ニ付キマ
シテモ極メテ必要ナコトダト考ヘテ居ルノ
デアリマシテ、サウ云フ現在餘リ家ガ密接
シテ居ラヌヤウナ地域ヲ成ルベク其ノ儘保
存シタイト考ヘマスノガ此ノ空地地區デア
リマス、併シ勿論敷地百坪ニ付キ建物ノ面
積ガ四十坪ノ所モ、五十坪ノ所モアル、六
十坪ノ所モアルカト存ジマス、必ズシモ三
十坪ト云フ譯デモゴザイマセヌガ、サウ云
フ實際ノ狀況ヲ調べマシテ、其ノ實際ノ
狀況ニ成ルベク適合サヌヤウニ、制限ヲ
シテ行キタイト云フ、此ノ方面ニ於キマシ
テハ自分ノ敷地ニハ建物ヲ五十坪ニ制限
スルノガ宜イト思ヒマス所ニハ、サウ
云フ制限ヲスルシ、三十坪デ宜イト考ヘマ
ス所デハ三十坪ト云フコトデ、其ノ地方ノ
情勢ニ合ッタヤウニ、其ノ建物ヲ建テル時ニ
制限ヲシテ行カウト、斯ウ云フノデアリマ
ス、併シ現ニ或一定ノ地域ノ中デ、現ニ全
體的ニハ敷地百坪ニ付テ、建築サレタモノ
ガ三十坪デアリマシテモ、中ニハ或ハ六十
坪、七十坪ノ地域ノモノガアルカト思ヒマ

ス、ソレニ付キマシテハ特別ノ取扱ヲシテ現狀ノ儘ヲ認メテ行クト云フ考デアリマス、大體トシテハサウ云フ一定ノ制限ヲシテ、ソレ以上成ルベク混ミ合ハヌヤウニシタイ

ト云フノガ、此ノ空地地區ノ今度作ラウト云フ制度デゴザイマス、東京ノ山ノ手方面ニ付キマシテモ、恐ラク震災前ニハ今日程建込ンデ居ナカッタノデヤナイカト思ヒマ

ス……此ノ敷地ト建物ノ面積ト云フモノガモツト緩ヤカデアッタノデヤナイカト思ヒマスガ、震災後非常ニ東京市ガ發展スルト共ニ、段々此ノ空地ガナクナッテ來テ、敷地一パイ

ニ家ヲ建テルコトガ段々ニ多クナッテ來タノデヤナイカト考ヘラレルノデゴザイマスガ、斯ウ云フ現在ノ郊外地モ恐ラク之ヲ此

ノ儘ニ放任ヲシテ置ケバ、今日ノ立派ナ東京郊外ノ住宅地ガ、矢張り敷地一パイニ家ヲ建テルコトガ段々多クナッテ參リマシテ建

込ンデ來ヤセヌカ、サウスルト結局下町モ同ジヤウニナッテ來ル虞ガ多分ニアルノデアリマシテ、ソレヲ今日ニ於テ空地地區ニ依ッ

テ防イデ、都市ノ稠密情態ヲ防グト云フ制限ヲ確立シテイツ迄モ立派ナ住宅地トシテ健康ナサウシテ、防空的ニモ防火的ニモ良

限スル時ハ敷地百坪ニ付テノ建物ノ面積ヲ三十坪ニスルカ、五十坪ニスルカ、或ハ六

十坪ニスルカハ實際ノ狀況ニ應ジマシテ決メテ行キタイト考ヘテ居リマス

○委員長(子爵會我祐邦君) チョット伺ヒマスガ、若シ此ノ法案ガ通過致シマシテ、之ヲ實施サレルニ當リマシテ今政府ノ御考

ニナッテ居リマス範圍ニ於キマシテ、此ノ專用住宅地ト云フヤウナ面積、及ビ工場地帯

ニサレル面積ト云フモノハ東京市ノ何分ノ一位ノモノヲ指定セムト御考ニナッテ居リマ

スルノデスカ

○政府委員(松村光磨君) 東京ノ實際ノ指定ノ際ニドウ云フ風ニヤルカト云フコトニ付キマシテハマダハッキリシタ意見ヲ有ッテ

居リマセヌガ、向フノ圖面デ十分御覽下サイマスレバ、一番左ノ方ニ圖面ガゴザイマスガ、

アノ緑ノ部分ガ住宅地域デアリマス、赤イ

ノガ商業地域デアリマス、藍色ヲシテ居ル所ガ工業地域デアリマスガ、其ノ中デ緑ノ

濃イ色、サウ云フ色が結局住居地域若シクハ空地地域ニナル最モ適當シタ地域デヤナ

イカト斯ウ考ヘテ居リマス、ソレカラ工業專用地區ニ付キマシテハ、此ノ真中ノ圖面

デゴザイマスガ、真中ノ圖面デアノ濃イ藍色ノ部分ア、云フ部分ヲ工業專用地域ニ指

定シテ行ッタラドウダラウカト考ヘテ居リマス、是ハ併シ尙地方ノ事情モ能ク調ベナ

ケレバナリマセヌノデ、許セバ成ルベク廣イ範圍ニ段々ト之ヲ指定シテ行キタイト考

ヘテ居リマスケレドモ、實際ノ狀況ニ應ジマシテ、都市計畫地方委員會等ノ意見ヲ徵

シマシテ決定致シタイト考ヘテ居リマス

○委員長(子爵會我祐邦君) モウ一ツ伺ヒマスガ、只今緑ノ所ノ濃イノト、淡イノト

仰シヤイマシタガ、空地區域ト、ソレカラ片ッ方ハ住居地域、空地區域ニハ先程御説明

ガアリマシタヤウニ、或ハ三割、四割、五割ト云フヤウナコトヲ適當ニ制限ヲシテ行

ク、專用住居地域トデモ申シマセウカ、其處ニハ矢張り制限ハナサルノデスカ、住宅

地ト家居トノ制限ハ自然ト其處ニ住ム人ノ氣分デ自ラソレガ制限セラレルト見テ居ラ

レルノデスカ、矢張り其處ニハ空地地域ト同ジヤウナ意味ニ制限ヲ、御指定ヲナサル

ノデスカ

○政府委員(松村光磨君) 住居專用地區ニ

ハ直チニ特別ノ空地制限ハ考ヘテ居リマセ

ヌデゴザイマス、現在ノ住居地域ニ付キマ

シテハ大體建坪敷地ノ六割迄ハ認メラレテ

居リマス、從ッテ六割迄ハ住居地域ニ於テハ

建テルコトガ出來ルノデアリマシテ、専用

住宅地區ニ於キマシテモ大體サウ云フコト

ニナルカト思ヒマス、併シ若シ更ニ其ノ地

方ノ狀況ガ許シテ、空地地區的ナ空地ノ制

限ヲ或程度迄スル方ガ宜イト云フ場所ガア

リマスレバ、更ニ其處ハ空地地區ヲ被セテ

行ッテ兩方デヤッテ行クトモ考ヘラレル

ト存ジマス

○委員長(子爵會我祐邦君) 住居ノ所謂專

用地域内ニ建テマス家ニ對シテハ其ノ空地

ト面積トノ割合ハ今度ハ未ダ指定シテナイ

譯デアリマスガ、併シナガラ只今ノ御説明

ニ依ルト空地ノ方ハ三割乃至六割ト云フヤ

ウナコトハ自ラ指定サルト云フコトガアリ

マスレバ、將來其ノ狀況ガ許セバ所謂住居

ノ專用地域迄ソレガ及ブデアラウト、斯ウ

仰ッシャルト解釋シテ宜シウゴザイマスガ、

只今ノ御説明デハ……

○政府委員(松村光磨君) 地方ノ事情ニ依ッ

テサウ云フ空地地域ヲ……專用住居地域内

ニサウ云フ空地制限ヲスレバ宜イト認メラ

レ、バ、サウ云フコトヲヤレバ宜イト思ヒ

マスガ、東京市内ニ於キマシテハ非常ニ純

粹ノ住居地域ト認メラレル所デモ、相當家

ガ建込ンデ居リマシテ、直チニ其處ハ空地

地區ヲ持ッテ行クノニ非常ニ工合ノ惡イ所

ガ相當アルカト思ヒマスカラ、其ノ地方ノ

狀況ニ應ジマシテ、必ズシモ空地ヲ直グニ
持ッテ行カウトモ考ヘテ居リマセスガ、要ス
ルニ地方ノ事情ニ依ッテ決定シタイト考ヘ
テ居リマス

○委員長(子爵會我祐邦君) モウ一ツ承リ
マスガ、此ノ何ニ依リマス、住居地域ト
工業地域ト、商業地域ト云フモノトハ自ラ
分レテ來ルヤウナ譯ニナリマスガ、其ノ三
ツニ屬セザルモノハ何ト云フ名前ヲ御附シ
ニナル御積リデアリマス、詰リ其ノ圖面
デ拜見致シマシタヤウニ未ダ大東京ノ面積
ニ比シマス、指定サレマス面積ハ非常ニ
小サナモノデアル、併シ將來ハ之ヲ大キク
延シテドシノ行カレル積リデアリマス
カ、當分ハ只今御考ニナツタ範圍デ御止メニ
ナル御積リデアリマス、其ノ點モ承ッテ置
キマス

○政府委員(松村光磨君) 現在ノ狀況カラ
申シマス、工業地域、商業地域、住居地域ノ
外ニ未指定地域ト云フノガアリマス、アノ圖
面デ見マス、黃色ナ所ガ殘ッテ居リマス、之
ヲ未指定地域ト申シマシテ、是ハ住居地域デ
モナケレバ、商業地域デモナイ、工業地域デ
モナイ所デアリマス、法律ノ精神ヲ讀ンデ
見マス、工業地域ヨリモ幾ラカ商業地域、
住居地域ニ近い中間地域ノヤウニ見エマス、

俗ニ我々ガ呼ンデ之ヲ輕工業地域ト申シテ
居リマスガ、サウ云フ地域ガゴザイマス、
例ヘバ東京デ申シマス、東京隅田
川ノ向フ側ノ本所方面ノ月島ノ一帯ハ未指
定地域ニナツテ居リマスガ、アスコニ大キナ
工業ガ出來テ煤煙ヲ盛ニ吐クト云フト、日
本橋、京橋方面ニ非常ナ煤煙ガ來ルト云フ
ノデ、此處ニハ大キナ工業ガ來ナイヤウニ、
ア、云フ風ニ黃色ヲ塗ッテ未指定地域ニシ
タ譯デアリマス、是ハ現在ハ其ノ通りニ實
行サレテ居リマス、斯ウ云フ地域モ或程度
迄必要デアラウカト存ジマス、大阪ニ於キ
マシテモ只今申シマシタヤウナ工業地域ト
住居地域トノ間ニ未指定地域ト云フモノヲ持ッ
テ居リマス、此ノ未指定地域ヲソレデハ
將來共之ヲ斯ウ云フ風ニシテ置ク積リカト
云フコトニナリマス、是ハ全く未指定地
域デアリマシテ、地方ノ發展狀況ニ應ジマ
シテ、將來ドツチカニ歸屬ヲ決メナケレバナ
ラヌモノモアルカト思ヒマスガ、又場合ニ
依ッテハ現狀ノ儘ニ置イテ置クコトモ考ヘ
ナケレバナラヌカト考ヘテ居リマス、要ハ
實際ノ狀況ニ應ジマシテ此ノ儘繼續スル場
合モアリ、或ハ又將來之ヲ外ノ地域ニ見返
ヘル場合モアラウカト考ヘテ居リマスガ、
一ニ地方ノ狀況ニ依リタイト考ヘテ居リマ

ス、尙此ノ外全然未ダ地域ハ指定シテナイ
眞ツ白ナ地域ガ埋立地等ニ於テゴザイマ
スガ、是等ハ追ッテ地方ノ發展變化ヲ
俟チマシテ追々ニ指定シテ行キタイト考ヘ
テ居リマス

○委員長(子爵會我祐邦君) サウ致シマス
ト只今仰ッシヤイマシタ未指定地域ト云フ
モノハ、要スルニ其處ハ商業スルモ可ナリ、
住居スルモ可ナリ、輕工業ト仰ッシヤイマ
シタガ、非常ニ大キナ工場デナイ以上ハ其
處デヤッテモ宜イト云フ譯デアリマス、カ
○政府委員(松村光磨君) サウデス

○委員長(子爵會我祐邦君) 而シテソレガ
將來ノ發展如何ニ依ッテハ之ヲ指定スルヤ
ウナコトガアリ得ルカモ知レナイ、斯ウ云
フコトニ解釋シテ宜シウゴザイマス、カ
○政府委員(松村光磨君) 左様デゴザイマ
ス

○委員長(子爵會我祐邦君) モウ一ツ續イ
テ許シラ戴キマスガ、一番終ヒノ所ニ道路
ノ問題ガゴザイマシテ、防空、防火或ハ保
健其ノ他ノ關係カラシテ道路ノ幅ヲ擴ゲム
ト欲スルノデアルト云フコトヲ伺ッタノデア
リマスガ、道路ノ幅ヲ擴ゲルニ付テ十分御
考ヲ戴キタイトハ、皆様モ御氣附ノ如ク
或道路カラ或道路ニ自動車ガ廻ル時ニ、角

ノ切り方ガ非常ニ小サク切ッデアリマス爲
ニ、自動車ハ「スピード」ガ非常ニ小サク、
遅イ「スピード」デ行クニモ拘ラズ、車ガ向
フノ道路ノ眞ン中迄出ルヤウナ場合ガ屢、ア
ル、是ハ詰リ言ヒ換ヘマスレバ直角ニアル
所ノ道路ノ角ノ切り方ガ自動車ノ旋回半径
ト伴ッテ來ナイ結果、サウ云フコトノ無駄ナ
地域ガ起ル、其ノ四角ノ中ニアル所ノ危險
物等非常ニ危イ物ガアリ得ルト云フコトガ
言ヒ得ルト思ヒマス、此ノ際道路ヲ擴ゲル
ニ當リマシテハドウカサウ云フヤウナ點ニ
十分ノ御考慮ヲ拂ハレ、且又前ニ九尺デア
リマシタモノヲ四「メートル」ト云フコトデ
アリ、又或場合ニハ九尺ノ道路モ認メルト
云フヤウナ意味ノコトガアリマスガ、ドウ
カソレ等ニ對シテハ電信柱ノ位置ヲ兎角考
ヘテ戴キタイト思ヒマス、折角四「メー
トル」ニ擴ゲラレマシテモ、極ク小サナ四「メー
トル」ノモノガ直角ニ來テ居ル場合ニハ
角ニ電信柱ガアツタリ何カ致シマス、云フ
ト、其處デ蒸氣「ポンプ」モ廻ラナケレバ何
モ廻ラナイト云フコトニナル、「トラック」ガ
二臺遭フト五時間モ動カナクナルト云フコ
トニナラナイヤウニ、其處等ハアレニ書イ
テアルヤウナ狀況ニナラウト思ヒマスガ、
其ノ點ニ付テハ將來御考ニナルト考ヘマ

スガ、ドウカサウ云フコトニ付テハ矢張り是ト同時ニ是ハ十分御考慮ナサルダラウト思ヒマスガ、ドウデアリマスカ

○政府委員(松村光磨君) 只今御話ノ點ハ至極私共御尤ト考ヘテ居リマス、成ルベクサウ云フ風ニ實行シタイト考ヘテ居リマス、現ニ廣イ道路ニ付キマシテハ、都市計畫ノ場合ニ、道路計畫ヲ考ヘマス場合ニハ相當外角ヲ切ルヤウニ致シマスガ、小サイ道路ニハ未ダ及ンデ居リマセス、將來建築線ノ指定其ノ他ノ場合、又小サイ道路ヲ改正スル場合ニモ是非サウ云フ趣旨ヲ以チマシテ善處致シタイト考ヘテ居リマス

○子爵白川資長君 チョット同ヒマスガ、先日モ「アパート」ノコトデ、チョット同ヒマシタガ、兎ニ角附近ノ住民モ火災等ニ付テハ頗ル危険ヲ感ジテ居リマス、尙又「アパート」ノ現在ノ状態ガ兎ニ角日本ノ醇風美俗ヲ紊ルヤウナ懸念ガ兎角アル、デ將來之ニ對シマシテハ禁止ナサルヤウナ御考ガアルカ、或ハ或程度ノ制限ヲ附スルト云フ思召カ、ソコ等ニ付テモウ一應伺ッテ置キタイ

○政府委員(松村光磨君) 「アパート」ニ付キマシテハ今御話ノヤウナ心配ガ多分ニアリマシテ、サウ云フコトカラ致シマシテ、此

ノ共同住宅ノ取締規則ト云フモノヲ作ッテ居リマス、唯之ヲ全部禁止スルコトガ出來ルカドウカニ付テハ非常ニムヅカシイカト存ジマスルガ、此ノ建築ノ取締ニ付テハ十分留意致シタイト考ヘテ居リマス、尙又此ノ建築様式等ニ付キマシテハ、サウシタ弊害ノナイヤウニ今後出來ルモノニ付テハ、此ノ規則ニ依リマシテ或程度迄統制ガ取レルカト考ヘテ居リマスガ、從來ノ「アパート」ニ付テハ殆ド規則等モアリマセシタ時分ニ出來タモノニ付テハ、相當弊害ノアルヤウナモノモアルヤウデスガ、尙十分研究シテ行キタイト考ヘテ居リマス、尙此ノ專用住居地域ニ「アパート」ヲ禁止スルト云フコトニ付キマシテハ、御説ヲ能ク承リマシテ、又實際施行スル上ニ於テ更ニ研究致シタイト思ヒマス

○潮惠之輔君 私ハ極ク簡單ナコトヲ一、二伺ヒタイノデスガ、改正案ノ第二條、第四條デ住居專用地區、工業專用地區ガ出來マシテ、其ノ建築ノ禁止制限ニハ必要ナ規定ガ設ケラレルト云フコトニナッテ居リマス、此ノ必要ナ規定ハ恐ラク内務省令デアラウト思フ、現行ノ市街地建築物法施行規則ノ改正ト云フコトニナルデアリマセウ、若シサウデアリマス、参考書デ御示ニナッ

タ住居專用地區内デハ許サレナイ建築物、ソレカラ工業專用地區ニ付テハ禁止サレル建物モアル、斯ウ云フ風ニ色々前ノ方ハ許サレルト云フヤウニ御示ニナッテ居リマスルガ、是ハ省令ノ中ニ明カニ御示ニナリマスルカ、ナッタ方ガ深切デモアリ、能ク一般ノ人ガ分リ易イノデ、サウアリタイト云フ氣分ヲ持ッテ居ルノデアリマスルガ、如何デアリマスカ

○政府委員(松村光磨君) 内務省令デ、ハッキリ此處ニアリマスヤウナモノニ付キマシテ規定致シタイト考ヘテ居リマス、尙此ノ參考ノ中ニハボンヤリ書イタ所ガアリマシタガ、之ニ付キマシテハモウ少シ研究致シマシテ、議會ノ方ノ御意見等ヲモ承リマシテ作リタイト考ヘテ居リマス

○潮惠之輔君 今一ツ參考ニ御示ニナッタ中ニ、建築物ノ外装ノ色彩ノコトガアリマス、是ハ法ノ十二條ニ今度「防空上」ト云フ文字ガ入ッテ行ク其ノ結果ノヤウニ見エマシタガ、外装ノ色彩ト云フモノハ十二條ノ敷地ニ關スルモノデモナイシ、或ハ設備ニ關スルモノト言ヘルカモ知レマセスガ、チョットソレモムツカシイヤウニ思ヒマス、構造ト解スルノデスカ

○政府委員(松村光磨君) 構造ト解スルト

存ジマシテ、ソレニ依ッテヤッテ行キタイト考ヘテ居リマス

○潮惠之輔君 此ノ外装ノ色彩ヲ構造ニ關スルモノトシテ今度必要ナル規定ヲ設ケ得ルト云フコトニナッテ居リマスガ、外ノ條項ハ相當規定ニハアルヤウデスガ、色彩ノコトヲ規定デ現ハスト云フノハドウ云フ風ニシテオ現ハシニナリマスガ、極ク漠然タル色彩ニ付テハ之ヲ制限スルコトヲ得ト云フヤウナ規定ヨリ外出來ナイノデヤナイカ、ソレカラモウ一點伺ヒマスガ、ソレハ何レニシテモ、今後出來マスル建築物ハ、或ハ許可トカ認可トカ云フコトデ規定ニ色彩ノコトガ定メラレルカラ、ソレニ遵ッテ行クノデスガ、既存ノ建物デ防空上好マシカラザル色彩ヲ帶ビテ居ルモノガ既ニアル、サウ云フモノニ付テハドウ云フ風ニシテ行ケバ宜イノデアアルカ、聞ク所ニ依ルト、或種ノ建物デ、今日何ト考ヘテモ必要ナ場合ニ色彩ヲボカス譯ニ行カナイモノガアル、其ノ際ハ色彩デハ行ケナイノデ、或ハ小サナモノハ網ヲ張ルトカ、色々外装ニ必要ナコトヲシナケレバナラス、サウ云フモノニ付テ何カ御研究ガ進ンデ居リマセウカ、ソレヲ併セテ伺ヒタイト思ヒマス

○政府委員(松村光磨君) チョット速記ヲ

止メテ戴キマス

○委員長(子爵會我祐邦君) 速記ヲ止メ

テ……

(速記中止)

○委員長(子爵會我祐邦君) 速記ヲ始メ

テ……

○潮惠之輔君 此ノ中央諸官衙ノ建築ニ付

テハ大藏省ノ營繕管財局ノ關係ニナルト思

ヒマスガ念ノ爲ニ伺ッテ置キマス、私共中央

官衙準備委員會ト云フモノガアリマシタガ、

ソレニ何年カ關係シテ居リマシテ、マア其

ノ間ニハ一度ナラズ幾度モ諸官衙ノ位置ノ

指定ガ變ッテハ居ルノデスケレドモ、其ノ時

相談シタノハ矢張り餘リ防空ト云フヤウナ

コトハ重キヲ置カレナカッタノデアリマス

ガ、平素ノ便宜ト云フコトガ主ニナッテ謂

ハバ集團建築ト云フヤウナコトデ、永田町

ナリ霞ケ關ヲ中心トシタ所ニ持つテ行ッテモ

主モノ官衙ヲ集メテシマフト云フノデアッ

タガ、其ノ後變更ニナツタカナラスカ知ラセ

ヌガ、我々ガ研究シタ最後ノ内定ハ斯ウ云

フコトニナツテ居リマスガ、今後防空ト云フ

問題ガ起ルト是等ハ餘程考ヘモノデアルヤ

ウニ思ッテ居リマス、サウカト云ッテ平素ノ

便宜ト云フコトヲ全然無視スルコトハ出來

マセヌノデ餘程ムツカシイコトト思ヒマス

ガ、何カ是ハ政府ノ内部ニ御考ガアッテ御

詮議ニナツテ居リマスカ、サウ云フコトノ御

研究ハ是カラデモ進メヨウト云フヤウナ

御考デモアリマスカ、一應是ハ伺ッテ置キタ

イト思ヒマス

○政府委員(松村光磨君) 防空的ノ見地カ

ラ中央官衙ノ集團スルコトニ付キマシテ私

達關係者、陸海軍等集リマシテ色々研究致

シテ居リマス、其ノ結論ハ大體今日以上ニ

集團サセルコトヲ避ケサセタ方ガ宜イデハ

ナイカト云フ結論ヲ得テ居リマス、大體其

ノ方針ヲ政府ノ内輪ノ話デアリマスガ、次

官會議等ニ於キマシテ内務次官カラ各省次

官ニ話ヲシマシテ大體サウ云フ方針ヲ決メ

テ戴クヤウニ進ミタイト考ヘテ居リマス、

營繕管財局ノ方デ中央官衙準備委員會ニ於

キマシテ今御話ノアリマシタヤウナ方針ヲ

決メラレテ居リマスノデ、其ノ方針ヲ決議

ヲ仕直スカドウカト云フコトニ付キマシテ

ハマダハッキリ大藏省ト兩者ノ意見ガ一致

致シテ居リマセスケレドモ、大藏省ニ於キ

マシテモ、今日以上ニ集團スルコトハ大體

避ケタ方ガ宜イデハナイカト云フコトヲ大

體考ヘマシテ今後出來マスル役所ニ付キマ

シテハ防空的ニ考ヘテ位置ヲ決定シヨウト

云フコトヲ話シ合ヒ致シテ居ルヤウナ次第

デアリマシテ、此ノ點ニ付テハ尙將來十分

慎重ニ研究シテ行キタイト考ヘテ居リマス

○委員長(子爵會我祐邦君) 委員諸君ニ御

諮ヲ致シマスルガ、只今委員會トシテ川村

伯爵ヨリ少シバカリ質問ガアルサウデアリ

マスガ御許シシテ宜シウゴザイマセウカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○委員長(子爵會我祐邦君) 御異議ナイモ

ノト認メマス、川村伯爵

○委員外議員(伯爵川村鐵太郎君) 此ノ際

質問ヲ御許シ下サイマシテ誠ニ光榮ノ至リ

デゴザイマス、私ハ元來甚ダ不辯デゴザイ

マシテ十分ノコトヲ申上ゲテソレガ能ク御

答辯ヲ得ラレルカ得ラレスカ分リマセヌケ

レドモ、私ノ出來ルダケニ、三申上ゲタイ

ト思ヒマス、私ハ第一ニ伺ッテミタイコトハ

是迄色々御質問ガアリ、伺ッテ居テ私共ノ了

解ヲ得タ所ガ少ナカラヌノデゴザイマス

ガ、第十二條ニ、「主務大臣ハ建築物ノ構造、

設備又ハ敷地ニ關シ衛生上、保安上、又ハ

防空上必要ナル規定ヲ設クルコトヲ得」ト

アリマスガ、此ノ中デ保安或ハ防空ニ付テ

ハ是迄色々御質問モアリ、私モ之ニ依ッテ大

イニ得タ所モアリマスガ、未ダ以テ衛生上

ノ見地カラノ御質問ヲ伺フコトノ出來マセ

ヌノハ甚ダ遺憾デゴザイマスガ、茲ニ二、

三ノ點ヲ衛生上ノ見地カラ伺ッテミタイト

自分ハ思ッテ居ルノデアリマス、第一ニ伺ヒ

タイコトハ此ノ法案ヲ内務省ガ提案サレル

前ニ審議會ナルモノニ於テ御審議ニナツタ

サウデアリマスガ、此ノ衛生ト云フコトニ

付テハ審議會ニ於テハドウ云フ風ニ御審議

ニナリマシタノカ、或ハ是ハ御漏シ下サル

コトガ出來ナケレバ宜シウゴザイマスガ、

御漏シ下サルコトガ出來ルトシマスレバ

チヨット後ノ質問ノ參考ニ伺ッテ置キタイト

思ヒマス

○政府委員(松村光磨君) 第十二條ニ關シ

マシテ衛生上ト云フ文句ガゴザイマシテ、

更ニ之ニ關シテソレノ必要ナル省令モゴ

ザイマスガ、中央委員會ニ此ノ改正案ヲ付

議シタノデアリマスガ、都市計畫中央委

員會ニ於キマシテハ別段衛生上ト云フコト

ニ付キマシテハ具體的ニ斯ウ云フ風ニシタ

方ガ宜イト云フヤウナ御意見モ承ラナカッ

タヤウニ思ヒマスガ、尙其ノ點ハ調査致シ

マシテ申上ゲタイト存ジマス

○委員外議員(伯爵川村鐵太郎君) ソレカ

ラ高度地區ト云フコトガ此處ニゴザイマス

ガ、此ノ高度地區ト云フコトヲ御決シナ

リマスニ付テハ高サハ無論御制限ガアル、

是ハ誠ニ結構ノコトト思ヒマスガ、從ッテ下

ニ向ッテ擴ガルト云フヤウナコトハ何カ御決メニナツタモノデセウカ

○政府委員(松村光磨君) 其ノ點ハ相當論

議ガゴザイマシタ、防空的ノ見地カラ見テ地下室ニ付テハ斯ウ云フ風ニ考ヘナケレバナラスト云フヤウナ御質問モゴザイマシテ、將來内務省ハ地下室ト云フモノヲドウ云フ風ニ扱フカト云フコトニ付キマシテ相當論議ガアツタヤウニ存ジマス、防空的ノ見地カラ見マスレバ、此ノ前モ大體申上ゲマシタガ五六階ノ建物デアレバ、其ノ地下室ハ爆彈ニ對シテハ非常ニ大キナ爆彈デナイ限り大體安全ノヤウニ考ヘラレマス、唯毒瓦斯ニ付キマシテハ場合ニ依ルト地下室ハ非常ニ危險ダト考ヘラレマスガ、相當設備ヲスレバ毒瓦斯ノ方ハ其ノ設備ニ依ッテ防グコトガ出來ルンデハナイカト考ヘラレマス、サウ云フ意味合カラ致シマシテ防空上ノ見地カラ言ヘバ地下室ノ相當多イ方ガ宜イノヂヤナイカ、ソレモ而モ人口ノ澤山アリマスル所ニ適當ニ配置セラル、コトガ必要デハナイカト考ヘテ居リマス、日常ノ衛生上ノ見地カラ致シマスレバ、地下室ハ衛生上有害デアリマスルガ、是ハ地下室ヲサウ云フ防空的ノ見地カラ必要ダトスレバ或程度ノ制限ヲ付シマシテ、地下室ヲ造ルコトヲ

獎勵シテ行クコトガ宜イノデハナイカト考ヘテ居リマス、併シ是ハ衛生的ノ見地カラ或程度ノ制限ハシナケレバナラスカト考ヘマスルガ、現在ハ地下室ノ使用ニ付テ少シ制限ガヤカマシイノデアリマスガ、或程度迄是ハ緩和シテ衛生的ニ成ルベク其ノ害毒ヲ受ケナイヤウナ風ナ使用ノ仕方ヲスルコトヲ考ヘテ地下室ヲ將來各所ヘ散在的ニ置クコトヲ考ヘナケレバナラスノヂヤナイカト斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマス

○委員外議員(伯爵川村鐵太郎君) 續イテ

モウ一ツ簡單ナコトヲ伺ッテ置キタイノデスガ、國民ノ體位、是ハマア外ニ互リマスケレドモ暫時御許ヲ願ッテ此ノ事ヲ申上ゲスト、言フコトガ分リマセスガ、國民ノ體質體力ガ逐年劣弱ニ赴キマスコトハ誠ニ憂慮サレルモノダト云フコトヲ指摘サレテ陸軍大臣カラ此ノ緊急國策ノ一ツトシテ保健衛生ノ施設ヲ講ズルコトニ六月ノ十九日ニ廟議ガ一決シタト云フコトハ國民生活安定向上ヲ重要ナル政策ト致シマス現内閣トシテハ當然ノコトト云ハナケレバナリマセス、從ッテ厚生省ナルモノガ此ノ結果出來上ッテ、我が國ノ衛生事業ハ悉ク統一サレルベキデアルト思ヒマスケレドモ、未ダ厚生省出來マシテカラ間モナイコトデアリマスルカラ、

ドウ云フ風ニナッテ居ルカ知リマセスガ、現ニ此ノ法案ナドモ衛生ガ中ニ入ッテ居ルナラバ必ズ厚生大臣モ副署シナケレバナラスト思フノデスガ、是ハ内務大臣限リデ御提出ニナツタト云フ理由ハ如何ナルコトカラサウナッテ居ルモノデゴザイマセウカ、チヨット此ノ邊ハ私不案内デゴザイマスカラ御知セテ願ヒタイト思ヒマス

○政府委員(木村正義君) 副署ノ關係ハ是

ハ今迄ノ先例ニ依リマス、關係シテ居ル大臣ガ全部副署スルト云フコトニナッテ居リマセス、主ナル大臣ガ副署スル、斯ウ云フコトデ關係スル者ハ全部殘ラズ副署スルト云フコトニナッテ居リマセスカラ、其ノ先例ニ依ッタノデアリマス

○委員外議員(伯爵川村鐵太郎君) 次ニ伺

ヒマスコトハ此處ニ規定サレテアリマス衛生ト云フコトハ、即チ環境ノ衛生清潔保持ノ問題ガ主ナモノヂヤナイカト感ゼラレルノデアリマス、現ニ此ノ間御説明ヲ受ケマシタ土地ノ建物ト土地ノ敷地ト云フモノハ或程度ノ制限ヲ持ツト云フコトガ衛生上必要ダ、斯ウ云フコトカラ推シテ見マシテモ、此ノ環境ノ衛生、清潔保持ノ問題デナケレバナラスト思フノデゴザイマスガ、是ハ左様心得テ宜シイデゴザイマセウカ

○政府委員(松村光磨君) 大體此ノ保健上斯ウ云フ制度ヲ作ルコトガ相當役ニ立ツト考ヘラレテ、斯ウ云フ規定ヲ置イタノデゴザイマスガ、サウ云フ風ニ御解釋ヲ願ッテ差支ナイト存ジマス

○委員外議員(伯爵川村鐵太郎君) サウ致

シマスト茲ニ私共始終見テ居ルコトデアリマスガ、明治三十五年以降マア現ニ一ツノ例ヲ申シマス、東京市ノ如キハ其ノ方針ト致シテ埋立地ノ法規ヲ無視シタト言ウテ宜イ位デアリマスガ、汚物ヲ埋立材料ニ利用シテ居ルト云フコトハ事實皆承知シテ居ルコトデアリマス、昭和九年ノ六月デアリマシタカ、東京市ノ清掃課長ガ放送致シタノニ無價值ノ塵埃ヲ以テ有價ノ土地五十萬坪ノ土地ノ埋立ヲシタト云フコトハ、東京市民ノ財産ヲ増加シタモノデアルト云フヤウナ、驚クベキ放送ガセラレタヤウデアリマス、今後將來ニ於テモ無統制ナコトガ行ハレルモノト見ナケレバナラス、從テ土地ヲ構成スル、地盤ヲ構成スルト云フコトハ此處ニ御指定ニゴザイマスル住宅地區域又ハ商業區域、工業地帯ノ如キモノモ、必ズヤ今申上ゲマシタ通り東京市ハ低地濕地ヲ汚泥ト生芥其ノ他混合塵芥ヲ以テ構成シテ居ルノデアリマスカラ、地盤ニ於テモ亦衛

生上ノ見地カラ見テノ事柄モ、頗ル憂慮スルコトガ多イノデナйкаト思ハレル、殊ニ是ハモウツ事實ヲ申上ゲマス、中野ニ傳染病ノ病院ガアル、此ノ傳染病院ノ前ガ低イ所デアリマス爲ニ、其處ヘ東京市ハ盛ニ塵芥ヲ以テ埋立テル、地盤ノ構成ハ無論惡イノミナラズ、其ノ結核病院ノ保健上カラ言ッテモ治療上カラ言ッテモ、私が茲ニ申ス迄モナク頗ル戰慄スベキ状態デアルト思ハナケレバナラス、デハドウシテモ此ノ何レノ國デモ殆ド文明國ト云フ文明國ハ市街地建築法規ノ中ニ、斯ウ云フ汚物ヲ以テ埋立テラレタ土地ノ建築物ハ許シテ居ナイノデアリマス、唯我が國ハ今迄ノ何デ澤山サウ云フ實例ヲ見ルノデアリマス、將來ハ斯ウ云フ問題ハドウ云フ風ニ御取扱ヒニナルノカ、殊ニ厚生省ノ出來タ今日ニ於テハ斯ウ云フ問題ハマサカ看過サレル譯ハナイダラウト思ヒマス、是ハ内務省ニ於テ今日ハ厚生省ガ出テシマフ後ハ警察衛生ノ方面ガアルノミダケデアリマスガ、内務省トシテ之ヲハッキリ御答辯ガ願ヘマスレバ誠ニ仕合セデゴザイマス

○政府委員(松村光磨君) 汚物ヲ以チマシテ埋立ヲ致シマシテ、其處ニ家ヲ建テルコトハ誠ニ好マシクナイコトデゴザイマシテ、

御話ノ通りニ相當響登スベキ状態デアルト云フコトニ付キマシテハ至極我々モ御説ノ通りニ考ヘテ居リマス、唯然ラバ之ヲ直チニ禁止スルコトニ付キマシテハ更ニ十分ノ調査ヲ致シマシテ、ドウ云フ規定ヲ置クカト云フコトニ付キマシテハ研究ヲ致シタイト考ヘテ居リマス、此ノ點ハ厚生省ノ方ニ於キマシテ汚物掃除法ガゴザイマシテ、是等ニ付テモ相當厚生省ノ方デ研究セラレテ居ルヤウデゴザイマスカラ此ノ方トモ能ク連絡ヲ取りマシテ、其ノ御調査ノ結果ニモ俟チマシテ、市街地建築物法トシテモ厚生省ノ方ト連絡ヲ取りマシテ、適當ニ善處シタイト考ヘテ居リマス、尙之ニ付キマシテハ外國ノ立法例等モ能ク調査致シマシテ、實際ノ事情ニ適合スルヤウニ致シタイト斯ウ云フ考ヲ有ッテ居リマス

○委員外議員(伯爵川村鐵太郎君) 只今ノ御話デアリマシタガ、甚ダ御言葉ヲ返スヤウデ相濟マヌヤウデアリマス、塵芥或ハ動物ノ屍體其ノ他ノ有機物ヲ以テ埋立ラレル土地ト云フモノハ言葉ヲ換ヘテ言ヘバ有機物ヲ以テ構成サレタ土地ノ地盤ト云フモノハ建築カラ言ヒマシテモ頗ル其ノ基礎ニ於テハ保安上ノ危險ト云フモノガアルコトハ當然デアリマス、現ニ東京市ガ埋立テテ居

ル所ニ大キナ建物ガアリマスガ、ズン／＼沈下シテ參ル、何處迄行ッテ止マルカ分ラヌト云フヤウナ所ガ幾ラモアルト思フ、是ハ建築上カラ見テモ保安上危險デアリマス、ソレカラ此ノ塵芥ヲ以テ埋立テテ居ル所ノ瓦斯ノ發生ト云フコトハ帝國大學ノ衛生學講座ニ於テ研究セラレテ既ニ發表セラレテ居ルノデアリマス、確カ昭和七年ダト思ヒマスガ、其ノ事實ト研究ノ結果ハ發表セラレテ内務省ニモ御アリニナル筈ダト思ヒマス、斯ウ云フモノヲ考ヘテ見マスルト一日モ早クサウ云フ問題ハ市民ノ保健上御取締リマスガ、只今ノ御話ニ依リマス、是程分ッテ居ル事實ニ拘ラズ更ニ調査研究ヲシナケレバ手ヲ著ケラレスヤウナ御話デアリマススケレドモ、是ハ甚ダ遺憾ニ思ヒマスガ、如何デアリマセウカ

○政府委員(松村光磨君) 此ノ外國ノ立法例等モ調べテ見マス獨逸デハ此ノ建築物ノ數地ハ塵埃ヲ以テ埋立テルコトハ出來ナイヤウニナッテ居ルヤウデアリマス「イギリス」ニ於テハ是ハ「イギリス」ガ必ズシモ全國同ジダトモ言ヘマセスガ「イギリス」ニ於キマシテハ塵埃ヲ以テ埋立テル時ニハ塵埃ノ厚サヲ制限スル、ソレカラ萬一棄テタ時

ニハ一番オ終ヒニハ必ズ土ヲ以テ被セル、サウシテ塵埃ガ其ノ儘見エルヤウニスルコトヲ禁ズルト云フヤウナ制限ガアリマシテ、必ズシモ「イギリス」ニ於テハ塵埃ヲ以テ埋立テルコトヲ絕對ニ禁止ハ致シテ居ラスヤウデアリマス、要ハ此ノ塵埃ガ今御話ノアリマシタヤウニ、有毒瓦斯ヲ發生スルコトヲ避ケナケレバナラスト存ジマス、又是ガ今御話ニモアリマシタヤウニ、或程度迄固マリマスルト云フト、敷地ガ下ルト云フコトヲモ考ニ入レナケレバナラスカト存ジマス、デ此ノ有毒瓦斯ノ發生ヲ避ケ、敷地ノ下ルコトヲ豫想シテ考ヘナケレバナラスト思ヒマスガ、併シ若シ塵埃ヲ以チマシテ埋立テタ所モ其ノ塵埃ガ全部酸化致シマシマヘバ、是ハ有毒ナ瓦斯ノ發生モナク、又或程度ノ年月ガ経テバ、是ガ土地ガ引締ルト云フコトヲモ考ヘラレルノデアリマシテ、或程度ノ年月ガ経テバ、其ノ害モ除カレルヤウナ譯デアリマス、デ斯ウ云フ點ヲ考ヘマシテ、今御話ノアリマシタヤウナコトヲモ能ク考慮致シマシテ、若シ規則、此ノ十二條ノ法律ノ施行規則又ハ施行令ニ於キマシテ考ヘルコトガ出來ルト存ジマス、又或ハ汚物掃除法、若シクハ汚物掃除法ノ施行細則ニ依リマシテ考ヘルコトモ出來ルカト

存ジマスガ是等ノ點ハ何分ニモマダ厚生省ノ意見モハッキリト致シテ居リマセヌノデ、是ハ甚ダ遺憾ノ點デゴザイマスガ、能ク厚生省トモ打合せ致シマシテ、適當ナル結果ヲ得ルコトニ努メタイト考ヘマス、其ノ上ニ適當ナ取締ラスルヤウニ致シタイ、斯ウ考ヘテ居リマス

○委員外議員(伯爵川村鐵太郎君) 只今英國ノ實例ヲ御示ニナリマシテ御話ガアリマシタガ、此ノ衛生問題ト云フモノハ氣候、風土、其ノ他天然的環境ノ國民生活ニ及ス影響ハ固ヨリ、百般ノ社會現象ノ影響ヲ悉ク是ハ仔細ニ觀察シテ善處スベキモノト思ヒマス、チョット申上ゲマス、今「イギリス」ノ例ヲ御話ニナリマシタガ「イギリス」ハ深サノ程度ト土ヲカケルト云フコトヲ標準ニシテ居ル、斯ウ云フ御話デアリマシタガ、成ル程其ノ實例ハアリマス、併シ「イギリス」ハ日本見タイニ何處ヘデモ彼處ヘデモ商業地帶、工業地帶、住宅地帶ヲ作ル國柄デハナイノデアリマス、必ズ一定區域外ニハ決シテ作ラナイ、ソコデ郊外ニ持ッテ行ッテ、或衛生的ノ設備ヲ以テ今日大戰後ニ於ケル疲弊シテ居ル「ローカル・ガバメント」ノ策トシテハ埋立ルコトガ一番適當デアリマスカラ、最モ適切ナル衛生的ノ考究ノ下ニ行ッ

テ居ルコトハアリマス、ケレドモ其ノ上ニ將來商業地區ガ出來ルトカ、工業地區ガ出來ルトカ云フコトハ全然英國デハ夢想モサレテ居ラナイノデアリマス、從ッテ法律ニ於テ禁止ナント云フコトモナイト思ヒマス、日本ノヤウニ住宅區域デモ、畑ノ中ヘ一本井戸ヲ掘レバ直グ家ガ建テラレルヤウナ國柄デアリマス、此ノ御取締ト云フモノハ唯ソコニ一片ノ國情ヲモ察セラレズ、一ツノ外國ノ事例事實ヲ御覽ニナッテ、其ノ儘ヲ日本デオヤリニナルト云フコトハ、頗ル危險デハナイカト思ヒマス、ドウカ其ノ點ハ十分ニ御留意ノ上、御處置ヲ願ヒタイト思フノデアリマス、次ニ甚ダ私質問ガ幾ツモアリマシテ失禮デスガ、モウ二三箇條デゴザイマスカラドウゾ一ツ御許ヲ願ヒマス、只今申上ゲマシタ北海道帝國大學ノ醫學部ノ衛生講座ノ井上教授ノ下ニ三名ノ助教ガ寄ッテ塵芥投棄ノ結果起ル所ノ瓦斯ノ發生ニ付テノ研究ハ既ニモウ今日何處デモ分ッテ居ル事柄デアリマス、又井上教授ノ著書ノ中ニモ實例ヲ示シテ居ルノデアリマスカラ、私茲ニ申述ベル必要ハアリマセヌケレドモ、是ハ後日ノ參考ニナルト思ヒマスカラ、委員長ノ許可ヲ得マシテ速記録ノ後ニ、私ノ議論ノ根據トシテ持出シタイノ

デアリマスカラ、是ハ御附加ヘテ願ヒタイト思ヒマスガ、御許ヲ願ヒタイト思ヒマス

○委員長(子爵會我祐邦君) ハイ

○委員外議員(伯爵川村鐵太郎君) ソレカラ次ニ共同利用設備ノ利用ニ付テハ何モマダ御質問ガアリマセヌデシタガ、其ノ中ニ一ツ水溜ノ事ガ先程モ御話ガアッタノデアリマスカ、此ノ前ノ特別委員會ノ時ニ、餘程大キナ數百立方「メートル」ノ水ヲ貯藏スル御話ガアリマシタガ、是ハ而モ飲水ニモスルト云フ御話ガアリマシタガ、チョット了解シ得ナイコトデアリマスカラ、之ヲ私カラモウ一遍御伺ヒシテミタイト思ヒマス

○政府委員(松村光磨君) 防空的ノ見地カラ火災ヲ消スト云フ爲ニ各所ニ貯水槽ヲ作ルノデアリマス、其ノ貯水槽ノ大キサハ此ノ前申上ゲマシタガ、大キサハ百立方「メートル」デアリマス、鐵筋「コンクリート」ノモノデアリマス、消防「ポンプ」ノ「ホース」ヲ二本取附ケテ約三十分間放水スルモノデアリマス、從來之ニ似タヤウナ貯水槽ガ警視廳ノ獎勵ニ依ッテ二三出來テ居ル所ガゴザイマス、其處ニ綺麗ナ水道ノ水ヲ容レテ置ク譯デアリマスガ、實際既ニ出來テ居リマスル貯水槽ニ溜ッテ居リマシタル水ヲ取リマシテ、水質ノ検査等ヲ致シテ見マシタ

ガ、其ノ水ヲ、モウ既ニ數年間貯藏シテ居ッタモノニモ拘ラズ何等今日直グ出テ來ル水道ノ水ト變リガナイト云フコトガ試験ノ結果發表セラレテ居リマス、此ノ試験ノ結果ヲ見マシテ時々此ノ水ヲ代ヘルヤウニスレバ一旦緩急アル場合ニハ飲水ニモ使ヘルノデヤナイカト考ヘテ居ル譯デアリマス

○委員外議員(伯爵川村鐵太郎君) 震災ノ時分ニ井戸ノ非常ニ有效デアッタト云フコトハ、是ハ誰モ知ッテ居ルコトデアリマスルガ、何故ニ斯ウ云フ「タンク」ヲ……「タンク」モ必要デアリマセウケレドモ、井戸水或ハ地下水ヲ利用スルトカ、或ハ其ノ間ノ地層ノ水ヲ利用スルトカ云フコトニ於テ井戸ヲ御掘リニナラナイカト云フコトヲ伺ッテ見タイノデアリマス

○政府委員(松村光磨君) 井戸ハ相當大キナ井戸デ相當水量ガ豐富ニ出マスルモノデアレバ、防火上ハサウ云フ井戸ナラバ役ニ立ッノデアリマスガ、普通小サナ井戸デハ消防「ポンプ」ヲ使ヒマスノニ水量ガ十分ナイト云フ憾ガアリマシテ、防火上ニハ普通ノ井戸デハ直チニ役ニ立チニクイ憾ガアルノデアリマス、デ井戸ハ飲料水トシテハ非常ニ結構デゴザイマスガ、併シ防火的ニ見マシテサウ云フ缺點ガアルヤウデアリマス、デ

ガ、其ノ水ヲ、モウ既ニ數年間貯藏シテ居ッタモノニモ拘ラズ何等今日直グ出テ來ル水道ノ水ト變リガナイト云フコトガ試験ノ結果發表セラレテ居リマス、此ノ試験ノ結果ヲ見マシテ時々此ノ水ヲ代ヘルヤウニスレバ一旦緩急アル場合ニハ飲水ニモ使ヘルノデヤナイカト考ヘテ居ル譯デアリマス

○委員外議員(伯爵川村鐵太郎君) 震災ノ時分ニ井戸ノ非常ニ有效デアッタト云フコトハ、是ハ誰モ知ッテ居ルコトデアリマスルガ、何故ニ斯ウ云フ「タンク」ヲ……「タンク」モ必要デアリマセウケレドモ、井戸水或ハ地下水ヲ利用スルトカ、或ハ其ノ間ノ地層ノ水ヲ利用スルトカ云フコトニ於テ井戸ヲ御掘リニナラナイカト云フコトヲ伺ッテ見タイノデアリマス

アリマスルカラシテ、我々ガ考ヘテ居リマス
ルノト、現在市内ニ大キナ「ビルディング」ニ
ハ大キイ鑿井ガゴザイマス、之ヲ或程度迄獎
勵致シマシテ、而モ其ノ井戸ト井戸ヲ結ブ
鐵管ヲ架ケマシテ、サウシテ之ヲ共同ノ「タ
ンク」ニ溜メテ置キマシテ、一旦緩急アル
場合ニハ、火事ニモ使ヒ飲料水ニモ使ヒ得
ルト考ヘテ居リマス、個々ノ小サナ井戸ハ、
今申上ゲマシタヤウニ、アルコトハ非常ニ
望マシイノデゴザイマスルガ、今申上ゲマ
シタヤウナ缺點ヲ持ッテ居ルノデ、防空上直
チニ此ノ井戸ヲ此ノ際各所ニ掘ラセルト云
フコトヨリモ、今我々ガ考ヘテ居ルヤウナ
風ニ、普通ニハ貯水槽、ソレカラ「ビルデン
グ」ノ列ンデ居ル所ニハ今ノ鑿井ヲ造ラセマ
シテ、之ヲ結ンデ大キナ「タンク」ニ入レテ置
イテ使フト云フヤウナコトニ致シタイト考
ヘテ居リマス、只今政府ノ「ビルディング」即
チ役所ノ建物ニハ實ハ鑿井ガゴザイマセス、
皆水道ノ水ヲ使ッテ居リマスルガ、是等ニ付
キマシテモ將來ハ財政ガ許セバ、所々ニ井
戸ヲ掘リマシテ、之ヲ今申上ゲマシタヤウ
ナ風ナ用途ニ使フトコトガ宜イノデハナイカ
ト考ヘテ居リマシテ、官廳防空計畫ノ一ツニ
ハ、官廳ニハ井戸ヲ掘ルト云フコトヲ考ヘ
テ居リマス

○委員外議員(伯爵川村鐵太郎君) モウ一
箇條伺ヒマス、先程工場地區内ニ於テ煤煙
ノ御話ガアリマシタガ、此ノ煤煙ノ防止ト
云フコトハ目下非常ニ世間ノ問題ニモナッテ
居リマス、殊ニ大阪方面デハ、私ノ知人ナ
ンカモ其ノコトニ非常ナ努力ヲシテ居リマ
ス、實際大ナル效果ヲ擧ゲツ、アルト云フ
コトヲ私ハ確信シテ居リマス、而シテ大阪
ハソレ程進歩シテ居リマスケレドモ、東
京ニ於テハ警視廳ニ於テ煤煙防止委員會ガ
アツク時ニ黒板君ガ死スストモウソレツ切リ
デオ終ヒニナッテ何ニモオヤリニナラナイ、
東京ノ煤煙問題ト云フモノハ將來ノ工場地
區ヲ御作りニナル上ニ於テモ非常ニ重要ナ
事項デアルト思ヒマス、是ハ別ニ研究ヲ要
シナイ分リ切ツタ問題デアリマス、其ノ他工
場カラ汚水ヲ流スト云フコトモ特別ニ御取
締ノコトモナイヤウデアリマスガ、法律上
ハ取締ガアルヤウデゴザイマスケレドモ實
際問題トシテハ其ノ儘ニシテアル、是ハド
ウシテモ煤煙ノ問題ト毒水、汚水、工場カ
ラ出ル所ノ汚水ハ特別ニ嚴重ニ御取締ニナッ
テ然ルベキダト考ヘマス、是ハ如何ナモノ
デゴザイマセウカ

○政府委員(松村光磨君) 東京ノ様ナ大都
市ニ於キマシテ、煤煙ガ非常ニ出マシテ、是
ハ健康上宜シクナイト云フコトニ付キマシ
テハ今御話ニアリマシタ通りデアリマシテ、
警視廳ニ於キマシテモ此ノ點私達ノ方ト能
ク連絡ヲ取りマシテ、其ノ害ヲ除クコトヲ
實ハ實行ニ移シツ、アルノデアリマス、是
ハ完全燃焼ヲヤラセルコト、罐ノ焚キ方ヲ
上手ニ焚ケバ或程度迄ノ煤煙ハ防止スルコ
トガ出來マス、又煤煙防止ノ、或程度ノ設
備ヲ命ズルコトモ必要デアラウト存ジマス、
デ是等ノ點カラ考ヘマシテ、完全燃焼ガ出
來ルヤウニ石炭ヲ焚クト云フコトニ付キマ
シテ、警視廳ハ或ハ講習會ヲヤルトカ、其
ノ他指導ヲヤルト云フ方面ニ、最近隨分力
ヲ盡シテ來テ居ルヤウニ思ヒマス、尙或程
度ノ設備ヲサセルコトモ必要デアルト考ヘ
テ居リマシテ、警視廳デハ近ク煤煙取締規
則等ヲモ制定スルト云フコトデ進ンデ居ル
ヤウナ次第デゴザイマシテ、成ルベク今御
話ノアリマシタヤウナ風ナ方向ニ、進ムヤ
ウニ努力致ス積リデアリマス

○委員外議員(伯爵川村鐵太郎君) 此ノ際
序ナガラ附加ヘテ置キマスガ、一番惡イノ
ハ警視廳ノ人達ナンデス、煤煙防止ノ問題
ニ付テ理解ノナイノハ……ソレハ何カト言
ヒマス、工學士ガ大學ニ行ッテ工學ヲ學
ブ、處ガ燃焼ト云フコトハ日本ノ大學デ教
ヘテ居ラナイ、外國デハ工業學校ニ入レバ
燃焼ト云フコトハ特別大切ナ講座ノ一ツト
シデアリマスガ、日本デハ非常ニ輕視サレ
テ帝大ニモ燃焼講座ト云フモノハナイ、從ッ
テ帝大ノ此ノ間ノ煤煙防止ニ付テノ研究モ、
半分ダケ出來、半分ハ出來テナイ、私ハ其
ノ書類ヲ頂戴シマシタガ、ソナヤウナ程
度デアリマスカラ、ソナ所デ習ッタオ弟子
サンガ警視廳ナンカニ入ッテウマク出來ル
譯ガナイ、是ハ十分其ノコトノ研究ヲシ、
實驗ヲシタ人ガ警視廳ニ居テ指導シナケレ
バ……一般國民ハ指導者ニ理解ノナイ者ガ
居ルノダカラ非常ナ迷惑ダト思ヒマス、是
ハドウカ一ツ……私ハ確信ヲ以テ申上ゲル
ノデアリマス、警視廳ノ煤煙防止ノ指導者
ガ一番不適當デアルト云フコトヲ確言シテ
置キマス、私ハ甚ダ勝手ナ質問バカリ申上
ゲマシテ長時間ヲ費シマシテ誠ニ恐縮ノ至
リデゴザイマスガ、先ヅ是デ初メノ質問ヲ
終リマス、更ニ願フカモ知レマセスガ、是
デ大體私ノ伺フコトハ申上ゲマシテ、政府
ノ御考ヘノアル所ハ分ツタ積リデゴザイマ
ス、有難ウゴザイマス

○委員長(子爵會我祐邦君) モウ御質問ハ
ゴザイマセスカ……皆様ニ御相談申上ゲマ
スガ、モウ御質問モ盡キタヤウデアリマス

政府委員

内務參與官 木村 正義君

内務省計畫局長 松村 光磨君

カラ、本日ハ討論ニ入ッテ決ヲ採リタイト思ヒマス、全部ヲ問題ニ供シマシテ討論ニ入リタイト思ヒマスガ、如何デゴザイマスカ……ソレデハ討論ニ入リマス

○子爵白川資長君 私共ガ考ヘマス、マダ不完全ナ點モ大分アラウト思ヒマスケレドモ、先ヅ此ノ程度ニ於テ原案ヲ全部御賛成ニナッテハ如何カト思ヒマス

〔賛成〕ト呼フ者アリ

○委員長(子爵曾我祐邦君) 只今御賛成ノ意見ガ出マシタガ、全部賛成ト認メテ御異議ゴザイマセスカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○委員長(子爵曾我祐邦君) 然ラバ本法案ハ全會一致ヲ以テ可決サレマシタ、之ヲ以テ此ノ委員會ヲ閉ヂマス

午後二時五十六分散會

出席者左ノ如シ

委員長 子爵曾我 祐邦君

副委員長 男爵加藤 成之君

委員

子爵白川 資長君

潮 惠之輔君

菊池 恭三君

田中德兵衛君

三木與吉郎君

第七十三回
帝國議會
貴族院

市街地建築物法中改正法律案特別委員會議事速記録第二號(二)

(委員外議員伯爵川村鐵太郎君ノ質問
資料參照ノ爲此處ニ載録ス)

(參照)

塵芥投棄場ヨリ發生セル瓦斯

ニ就テ

青木市太郎

木村 正一

佐々木憲介

北海道帝國大學醫學部衛

生學教室(主任井上教授)

(昭和六年十月二十六日受付)

緒言及ビ文獻

著者等ハ曩ニ「塵芥投棄場ニ於ケル塵芥ノ變化ニ就テ」ナル表題ノ下ニ塵芥ノ腐敗經過竝ニ其機轉ニ就テ述ベタリ⁽¹⁾。本編ニ於テハ其塵芥投棄場ヨリ發生セル瓦斯ニ就テ研究セリ。

今日迄ノ文獻涉獵スルニ塵芥投棄場ニ於テ發生スル瓦斯ニ就テ研究セシ業績ハ著者等ハ寡聞ニシテ之ヲ見ザリキ。只岡崎氏⁽²⁾ガ塵芥ノ腐敗作用ニ就テ研究シ各種ノ厨芥ヲ硝子容器ニ入レ、之ヲ各溫度ニ於テ腐敗セシメ發生セル腐敗瓦斯即チ炭酸瓦斯、硫化水素、竝ニ「アムモニア」ヲ一定時間毎ニ

定量シ、是ヲ以テ厨芥ノ腐敗狀態ヲ比較考究シ、其何レノ瓦斯ガ腐敗經過ト並行スルカ、即チ何レノ瓦斯ヲ以テ腐敗ノ標尺トナシ得ルカラ闡明ニセントシテ研究セル業績ハアルモ、塵芥投棄場ヨリ如何ナル瓦斯ガ發生スルカト言フ問題ニハ觸レザリキ。尙同氏ノ成績ニ就テ述ブレバ、硫化水素ハ混合厨芥ノ腐敗中ニハ相當量發生スルモ腐敗經過トノ間ニハ一定ノ關係ヲ見出シ難ク、「アムモニア」ハ混合厨芥ニテハ腐敗ノ極期ニ到リ少量發生スルモ爾後ハ殆ンド同量ヲ發生シ、腐敗終了後モ減少セズ。炭酸瓦斯ハ各種厨芥ノ何レニ在リテモ三瓦斯中最モ多量ニ發生シ、且ツ腐敗經過トノ關係最モ明カニシテ比較的克ク之ト並行セリ。故ニ著者ハ厨芥ノ腐敗經過ノ標尺トシテ炭酸瓦斯ヲ以テスルヲ便宜ナリト報告セリ。

以上述べタル如ク塵芥投棄場ヨリ發生セル瓦斯ノ種類ニ就テ研究セシ業績ハ極メテ少シ故ニ著者等ハ之ニ就テ研究試驗シ聊カ得タル處ヲ茲ニ發表シ諸賢ノ御批判ヲ仰ガントス。

第一章 試驗場所ノ沿革

著者等ノ試驗セル函館市塵芥投棄場ノ沿革ニ就テ調査シタルモ詳カナラズ。今其概略ニ就テ述ベン。函館市ハ日々排出セラルル塵芥ヲ市ノ東海岸ニ當ル東川町海岸ニ明治十九年以來投棄シ、其後明治三十四年ヨリハ汚物掃除法ニ依リテ塵芥ヲ同所ニ投棄シ爾來今年ニ至ルマデ約四十年間ノ長年月ニ亙レリ。此塵芥投棄ノ最初ノ目的ハ海水ノ浸入ヲ防グタメ防波堤ヲ造ラントスルニ在リキ。此事業ニ成功セル某氏ハ其功勞ヲ表彰セラレ藍綬褒章ヲ授與セラレタリト謂フ。然ルニ其後人口増加シ都市モ次第ニ發展大スルニ連レ、日々投棄セラルル塵芥ノ量モ益々増加シ來リ、此四十年間ニ膨大ナル塵芥ノ山ヲ形成スルニ至レリ。即チ最高三十四尺、最低二十尺、延長四百間ニ亙レリ。斯クノ如キ塵芥ノ山ガ市ノ海岸ニ堆積セラルルコトハ單ニ衛生上ノミナラズ、都市ノ美觀ヲ害シ、加フルニ近年コノ塵芥投棄場ヨリ自然發火スルコト一年間ニ數十回ニ及ベルタメ屢、消防夫ノ出勤ニ依リテ消火シタル等種々ノ問題ヲ起セリ。此處ニ於テ市當局モ大都市ノ風上ニ在ル塵芥ノ山ヲ取り除カントノ計畫ヲ樹テ、本年三月末ニ之ガ除去ニ著手セリ。之ガ爲メニ海岸

ニ護岸工事ヲ施シ塵芥ハ總テ海上ニ投棄スルコトトセリ。(本誌第十年第五號ノ作業著手前後ノ圖參照)然ルニ作業進行シ塵芥ノ山ガ表層ヨリ次第ニ掘リ下ゲラレ表面ヨリ二米突以下即チ醱酵ノ旺盛ナル層ニ到達セリ。此處ニ至リ惡臭ノ瓦斯發生シ作業中ノ人夫達ハ頭痛、呼吸困難又ハ眩暈等ヲ訴ヘ作業困難トナレリ。尙ゴムノ地下足袋ガ僅カ三日位ニテ腐蝕シ破損シ、更ニ著用セル股引半纏ノ類モ同様ニシテ、其耐久力ハ普通労働時ノ三分ノ一ニ過ギズト謂ヘリ(新聞記事參照)。然カモ此ノ瓦斯ハ市中ニ瀰散シ、市民其惡臭ニ苦シミタリ。尙コノ塵芥投棄場ノ極ク近クニ小學校アリ、同校ノ職員生徒ハコノ惡臭瓦斯ノタメニ頭痛甚ダシク又咽喉ガ刺戟セラレ咳ヲ惹起セシメ一時ハ小學校ヲ休校セシメントシタル程ニシテ當時函館市ノ一問題トナレリ當時ノ函館ノ二新聞ノ記事ヲ此處ニ記シ、其ノ發生セル瓦斯ニ就テノ實況ヲ示サントス。

函館毎日新聞記事⁽³⁾ 四月八日

東川町護岸工事。流石ノ勞働者モ逃ゲ出ス。東川町護岸工事ハ目下旺ニ地均シ塵芥處理ヲ行ツテ居ルガ山積サレル塵芥ノ惡臭

ト「メタンガス」ノ發生ニ依リ從業人夫ハ病氣ニ罹リ倒レルモノ多ク工事初期ハ一回平均百人餘ノ人夫募集ヲ見タルガ仕事ニ堪エ兼ネ逃ガ出スモノ多ク昨今漸ク數十人位ノ從業者ナキ由テ殊ニ勞働服ヤ靴ナドハ臭氣ト「メタンガス」ニ依リボロボロトナルノデ一日賃金七十錢乃至八十錢デハ間ニ合ハヌト言フ不平ナド出デ失業勞働者洪水ノ今日流石ノ勞働者モ辟易ノ體デアル。

函館新聞記事④ 四月十二日

足袋ヲ腐ラス。耐エラレヌ臭氣。次ニ勞働狀態ダガ人モ知ル魔ノ堤防、何シロ數十年來投ガ捨テラレテハ蓄積シタ老大ナル塵芥ガ凝ツテ堤防トナツテ居ルノダカラ取除クニ「ツルハシ」ヲ入レルト例ノ發火作用ヲ持ツ「メタンガス」ヤ其ノ他種々ノ有害「ガス」ガ發生シ、中へ踏込ムトハイテ居ル高丈ガ僅カ三日位デ腐ツテ切レテシマフ。普通ノ勞働者ナラバ一足デ一ヶ月モ持ツモノガ月ニ十足近クモ要ルノデ……身ニ付ケテ居ル股引ヤ半纏ノ類モ之ニ準ジ平常ノ勞働ノ三分ノ一シカ耐久力ガナク、カテテ加ヘテゴミノ深部ニナル程「ガス」ガ猛烈デ一日數人ノ卒倒者ヲ出シ眼モアテラレヌ有様トテ普通ノ健康體ヲ持ツ人間ノ鼻デハ其臭氣ダケデモ我慢ガ出來ヌト言フノデアル。

「マスク」ヲ使用セヨ。

コンナ調子ダカラ失業者救済ノタメ職紹ノ斡旋シタル人夫タチモ去ル八日等三十人モヤツタウチデ現場ヘハイツタ者僅カニ九人、三分ノ二以上ハ一目見テ逃ゲ出シテシマヒ、ソシテ現場デ仕事ニ就イタ九人ノウチ三人ハ途中デ我慢ガ出來ズニ歸ツテ了ツタト言フ狀態、昨今ハ毎日職紹カラヤツタ人夫ノウチ平均二割シカ就職シナイソウデ話ニナラナイ。勞働者ハ失業シテ居ナガラ自ラ職ヲ嫌ツテ撰リ食ヒスルコトモ惡イガ彼等モ人間デアル限り多少ハ健康ト衛生トヲ考ヘテヤルベキダカラゴミヲ取除キノ間ダケハセメテ「マスク」デモカケサセテヤリ使用者ノ方デ考慮シテヤルベキダト頻リニ力説スル人モ出テ來テル。

四月十六日の護岸工事ノ毒瓦斯第二東川校ヲ襲フ。……處ガ問題ハ働ク人夫達バカリデナク附近ノ住家ハコノ臭イ匂ヒニ惱マサレテ殊ニ東風ノ吹ク時ハ一層甚ダシク住民達ノ健康ニ影響少ナカラズト苦シンデ居ル。更ニ由々シキ問題ノ發生ハ第二東川小學校ヲ「メタン」瓦斯ガ襲フテ生徒達ノ健康ヲ害シツアルガ實ニ驚イタ。同校ノ久慈校長ハ十五日午後市役所ノ校長會議出席ニ當リ野崎學校衛生主事ヲ訪ネ事情ヲ口頭陳

述シ市ノ調査方ヲ願ヒ出タ。ソレニ依ルト春ノ聲ト共ニ東風吹ク日ガ多ク地熱ノ溫リガ立チ込メ初メテ昨今校内ハ非常ニ臭氣ガ漂ヒ多少ノ強弱ハアルモ連日ニ互ルノデ何カト調査ノ結果護岸工事ヨリ襲フ「メタン」瓦斯ノ臭氣ト判明スルウチニ兒童中ニ夥ダシク嘔吐ヲスル者多ク眩暈ヒスルモノナド續出シタガ結果ハ何レモ「メタン」瓦斯ノタメ判明シタ。然シマダ卒倒シタ者ハ無イガ結果ヲ想像スルモ心寒サヲ感ズベク此儘デハ授業繼續ハ容易ナラザル模様デ殊ニ生徒ノ保健上野崎氏ハ頗ル重大視シテ居ル。

四月十七日の東風ガ吹クト頭工合ガ惡イ……發生瓦斯ニ依ツテ惱マサレテ居ル事ハ事實デアリマス東風ガ吹ク時ハ殊ニ烈シイ。三月末ノ學年末ノ休業中ニ事務室ニアツタ職員中ニハ頭工合ガ惡イ人ト咽喉ヲ痛メタ人ガアツタ。……今ノ處デハコノ爲メニ病人ハ出マセンガ發作的ニ身體ニ異狀ヲ來タスコトハ執レモ感ジサセラレテ居リマス。何分大人ノ身體デサヘ斯ク感ズルノデスカラ子供ニモ影響シナイデハ居リマセン。以上ノ記事ニ依リ如何ニ其處ヨリ發生セシ瓦斯ガ惡臭ナリシカ又人體ニ對シテ如何ニ有害ニ作用セシカラ親ヒ知ルコトヲ得ベ

シ。此處ニ於テ著者等ハ函館市ニ赴キ此塵芥投棄場ヨリ如何ナル瓦斯ガ發生セルカラ研究セリ。

第二章 試驗方法並ニ試驗成績

第一節 瓦斯採取方法

塵芥投棄場ノ各層ヨリ發生セル瓦斯ノ採取ニハ直經約三糎、長さ四米突ノ瓦斯鐵管ヲ打チ込ミ、此ノ鐵管ノ上部ニハ二連球ヲ連結シ鐵管中ノ瓦斯ヲ吸引スル裝置トナセリ。硝子管ノ下部ニハ「ゴム」管ヲ連結シ長ク垂下セシメタリ。鐵管ノ下部ハ尖銳トナシ塵芥層中ニ打チ込ミ易カラシメ、尙下部ニハ無數ノ小孔ヲ開ケ瓦斯ガ充分鐵管內ニ充滿シ得ル様ニナセリ。斯クノ如キ鐵管ヲ塵芥層中ニ打チ込ミ任意ノ層ヨリ瓦斯ヲ二連球ニ依リテ吸引シ罐中ニ捕集セリ。定量方法ニ就テハ各章ニ於テ述ベシ。

第二節 臭氣竝ニ反應

臭氣ハ極メテ惡臭ニシテ暫ク嗅グコトヲ得ザル獨特ノモノニシテ腐敗臭ナリ。尙且ツ刺激性アリ。

反應ハ可檢瓦斯ヲ捕氣罐中ニ採取シ、之ニ蒸餾水ヲ入レ振盪シ、之ニ瓦斯ヲ吸收セシメ其反應ヲ見タルニ強「アルカリ」性ヲ呈セリ。此「アルカリ」性反應ハ瓦斯中ニ含有セラル「アムモニア」ニ由ルコトヲ知レリ。

第三節 炭酸瓦斯(CO₂)

炭酸瓦斯ノ毒性ニ關シテハ今日迄 Pettenkofer 以下 Flügge, Haldane, Hill, Benedict 其他ノ學者ノ研究ニヨリ略究明セラレタルガ如シ。Benedict u. Miller¹⁾ニ依ルニ、CO₂ノ含量0.5—2.0%ニ達スルモ不快感ナク、然シ此際運動スレバ不快ヲ感ズ。唯CO₂ノ濃度ガ3—7%ニ達スル時ハ呼吸困難、眩暈、耳鳴等ノ症狀ヲ呈シ、10—11%ニ達スレバ頭痛、惡心等ノ症狀ヲ呈ス。而シテ炭酸瓦斯ハソレ自身ノ毒性ハ極メテ少ク、CO₂ノ多寡ハ實際問題トシテハ單ニ空氣汚染ノ標尺トシテノミ重要ナル意義ヲ有ス。

ルコトハ周知ノ事ナリ。

CO₂ノ測定方法

鐵管ヨリ吸收セラレタル瓦斯ヲ先ヅ硫酸中ニ通ジ、斯クシテ導カレタル瓦斯ヲ一定容積ノ罎中ニ捕集シ Pettenkofer 氏法ニ依リテ測定セリ。瓦斯捕氣罎ハ塵芥投棄場ヨリ發生セル CO₂量餘リニ多キトキハ容積700cc位ノ小ナル捕氣罎ヲ使用セリ。

試驗成績

塵芥投棄場ノ各層ヨリ發生セル瓦斯中ノ CO₂量ヲ測定シタルニ次ノ如キ成績ヲ得タリ。

表 1

瓦斯採取層ノ深サ	3 cm	2 m	4 m	7 m	地表面ヨリ 60 cm 上層
CO ₂ 量	0.915%	218%	7.99%	0.653%	0.502%
降溫率		9.68%			

第一表ニ示スガ如ク塵芥堆積層ノ表面ヨリ 3cm 下ノ層ニハ CO₂發生量ハ少ク、二米突ニ達スルト相當多量ニ發生シ、四米突下ニテハ最多量ノ CO₂ヲ發生ス。尙此層附近ニテハ溫度 70°C 位ナリキ。岡崎氏ノ說ヲ以テ律スレバ此四米突下ハ最モ腐敗ノ旺盛ナル層ナリト言ヒ得ベシ。此層ヨリ發生スル CO₂量ニテハ人ヲシテ呼吸困難、眩暈、頭痛等ヲ惹起セシメ得ベシ。七米突下ニテハ次第二其發生量ハ減少シ、地表ヨリ 60cm ナル深層ニテハ CO₂ノ發生量ハ少量ナリ。尙降雨アリシ翌日ニハ雨水塵芥層中ニ滲透シ、醱酵旺盛トナレリ。隨ツテ CO₂ノ發生量モ多量トナレリ、即チ 9.68%ニ達シ通常ノ發生量ノ大約五倍ニ増量セリ。

第四節 酸化炭素(CO)

酸化炭素ノ毒性ノ概念

森田及西村²⁾兩氏ハ石油瓦斯ノ各暖爐及

火鉢等ニヨル暖房ノ際發生スル室内酸化炭素量ニ就キ詳細ナル研究ヲ發表セリ。由之觀之諸工場ノミナラズ微量ノ酸化炭素(0.01—0.03%)ハ吾人ガ日常生活ニ於イテ屢々遭遇シツアルモノノ如シ。而シテ如斯微量ノ酸化炭素ハ吾々人類ニ有害ナリヤ否ヤハ重要ナル問題ニシテ今日迄ニ諸學者ニ依リテ研究セラレタリ。COノ毒性ハ赤血球毒ニシテ「ヘモグロビン」ト結合シテ酸化炭素「ヘモグロビン」(CO-Hb)トナリ、赤血球ト酸素トノ結合量ヲ甚ダシク減少セシムル外、神經毒(0.03—0.04%以上ニ於イテノミ見ラル)或ハ Protoplasma 毒性ナリト稱セラレタリ。然レドモ特殊毒性說ト其否定說トアリテ實驗的ニハ否定說堅キモノアリ。中毒症狀ニ就テ略述セン。急性酸化炭素中毒ニ罹レル動物ノ症狀ハ比較的定型的ニシテ三ツノ時期ヲ經過ス。①麻痺期②痙攣期③假死期ノ三期ナリ。人間ノ中毒症狀ニ於テ酸化炭素中毒初期ノ最モ先ニ表ハル、徵候ハ森田氏³⁾ニ依レバ頭痛ナリト謂ヒ、漸次中毒進行スルニ連レ耳聾、眩暈、惡心、嘔吐等初期ノ現象ナリ。顔面紅潮ヲ呈シ、外觀上恰モ酩酊シテ居ル有様ニ見エ、斯クシテ失神シ遂ニ痙攣ヲオコシ、假死ニ陥ル。此假死期ニナルト手足ノ運動障害ノ外

ニ知覺麻痺ガ特有ナリ。次ノ時期ニハ死スルカ或ハ死ヨリ免カルカニ在リ。又多クハ覺醒後ニハ記憶力消失ス。幸運ニシテ死ヲ免カルル時ト雖モ恢復後色々ノ嫌フベキ病氣ヲ惹起スルコトアリ。即チ血管壁及神經細胞ノ營養障害ナリ。故ニ血管破裂、痲痺、腦脊髓軟化、痲痺、耳聾、失語症、健忘症、多發性神經炎、舞蹈病多發變、ヒステリー性啞等種々ナル續發症ヲ生ズルコトアリ。尙特ニ高度ニシテ持續スル貧血又ハ腎臟炎ヲ起スコト有リト報告アリ。尙CO中毒ノ限界量ニ就キ爲野氏⁴⁾ハ其指針トナルベキハ網狀赤血球ノ出現程度ニシテCO毒性限界量ハ0.01%ナリトセリ。COノ慢性中毒ノ場合生體ニ及ボス影響ハ瓦斯代謝異常、物質代謝異常、中毒尿中ニハ蛋白ニ伴ヒ常ニ糖ヲ有シ、血液ニ變狀ヲ來ス。諸種動物ハ酸化炭素ニ依リテ中毒死ヲキタス。其致死量ハ西村氏⁵⁾ニヨレバ二時間ノCO吸入ニテ死スル最少限度量ハ十姉妹ハ0.25%、雀ハ0.3%、小鼠0.3—0.4%ニシテ犬ハ0.5%ナリキ。而シテ海狼ハ1.0%ニシテ死シ、家兎ハ1.3%ニテ絶命セリ。即チ小鼠ハ血中ノCO-Hb量ガ約70%ニ達セシ場合ニ死シ、犬ハ86%、家兎ハ88%ノ血色素ガCOニヨリテ飽和セラレタル場合ニ死

セル結果トナレリト報告セリ。以上ノ如ク
COハ動物ニ對シテ極メテ毒性強シ。

試験方法

可檢瓦斯ノ採取方法ハ先ヅ鐵管ヲ塵芥層
中ニ打チ込ミ之ヨリ導キタル「ゴム」管ヲ瓦
斯吸收罐ニ連續セリ。最初ノ吸收罐ニハ
Aetzkaliノ小片ヲ滿シ。不飽和炭化水素、
硫化水素、無水亞硫酸、其他還元性瓦斯ヲ
吸收除去シ、次ノ吸收罐ニハ濃硫酸ヲ入レ、
炭化水素化合物並ニ「アムモニア」等ヲ吸收
セリ。斯クノ如クニ處置セラレタル瓦斯ハ
最後ニ10立ノ捕氣罐中ニ水ヲ充滿シコノ水
ヲ流出セシムルコトニ依リテ捕氣罐中ニ檢
體ヲ置換シ、コノ瓦斯ニ就テCOヲ検査セ
リ。

定性試験

COノ定性試験方法トシテ以下ノ三方法
ヲ行ヘリ。

(1) Franzen u. Mayer 氏法即チ黃色血滴
鹽法、家兎ノ脱纖維血液 5ccニ30% 黃色
血滴鹽溶液 7.5ccヲ加ヘ、之ニ33%ノ醋酸
ヲ1cc加ヘ、之ヲ可檢瓦斯中ニ一定時間放
置スルトキハ血液ハ赤褐色ヲ呈セリ。之ニ
依リテNO存在ヲ知レリ。

(2) 次ニ亞「クロール」パラヂウムヲ以テ
濡シタル濾紙ノ黑變スルコトニ依リテCO

ノ存在ヲ知レリ。

(3) 更ニ空氣中ノCOノ微量精密測定法
トシテ家原氏(2)ハ「マウス」並ニ小禽ヲ用
ヒ、血中ノCO-Hb量ヨリ空氣中ノCOノ濃
度ヲ測定スル方法ハ化學的鑑識法ヨリ遙カ
ニ有利ナリトセリ。著者等ハ一匹ノ「マ
ウス」ヲ數箇ノ金網製籠ノ中ニ入レ之ヲ塵芥
堆積層ノ横ニ堀リタル孔中ニ入レ置キ其狀
態ヲ觀察セリ。然ルニ「マウス」ハ孔中ニ入
レラレタル直後ニハ不安狀態ニナリ籠中ヲ
遁走セントシテ馳驅シ、次第ニ運動不活潑、
食慾不振トナリ、食餌ハ是ヲ取ラザリキ。
二日間觀察シタルニ三日目ニ九匹ハ浮浪者
ニヨリテ盜マレ殘リノ二匹ハ之ヲ試驗室ニ
持チ來タルニ翌日二匹共ニ斃死セリ。コノ
「マウス」ノ死ノ原因ハ果タシテCOニ依ル
ヤ否ヤハ血液ノ検査出來得ザリシ故ニ斷定
シ難キモ、是等ノ狀態ヨリ總合シテ按ズル
ニ塵芥投棄場ヨリ發生セル瓦斯ハ「マウス」
ニ對シ極メテ有毒ナルコトヲ知レリ。

定量方法

COノ定量方法ニハ種々ノ方法アルモ著
者等ノ場合ハ出張先ナレバ遺憾ナガラ極
メテ簡便ナル方法即チFoller氏概略定量方
法ニ依リテ測定セリ。即チ可檢氣體ノ滿サ
レタル罐中ニ亞「クロール」パラヂウム「液」ヲ

以テ濡シタル濾紙(長サ6cm、幅0.6cm)ヲ
吊シ、其黑變セル時間ヲ以テCOノ含量ヲ
Foller氏概算法ニ依リテ測定セリ。

試驗成績
塵芥投棄場ノ各層ヨリ發生セルCO量ハ
大略次ノ如シ。

層ノ深サ	3 cm	2 m	4 m	7 m	深サニリ 60 cm 以上
CO量	0.05%	0.1%	C.2—0.3%	0.3%	—

第二表ニ示スガ如ク表層ニモCOハ發生
シ、二米突、四米突、七米突ト次第ニ深層
ニ至ルニ從ツテ其發生量ヲ増加シ、極メテ
深キ層ニテハ其發生ヲ見ザリキ。前述ノ如
ク爲野氏ハ酸化炭素中毒限界量ヲ0.01%ナ
リトセリ。之ニ依レバ第二表ニ示スガ如
ク此塵芥投棄場ノ二米突ノ深層ヨリ發生セ
ルCO量ハ中毒ヲ起サシムル限界内ニ在リ。

酸化作用充分ニ行ハレ、有機物が直チニ
CO₂トナルニ反シ之ヨリ深層ニ於テハ酸素
ノ供給惡シク故ニ酸化作用不充分ニシテ有
機物が直チニCO₂ニマデ酸化セズシテ酸化
ノ途中ナルCOトナリテ存在スルナラント
思惟セラル。

第五節 「アムモニア」(NH₃)

「アムモニア」ハ種々ナル含窒素有機物ノ
分解ニ依リテ生ズルモノニシテ汚穢物ノ堆積
停滯シタル處ニ發生シ、殊ニ分解ノ盛ニ行
ハル、時ニ發生スルモノナリ。「アムモニア」
ハ直接健康ヲ害スルコト無キモ間接ニ其臭
氣ニ依リテ食慾ヲ害シ又深呼吸吸ヲ妨グル等ノ
害アリ。若シ0.10%ノ「アムモニア」ヲ含ム
トキハ直チニ不快ヲ感ズルモ0.3—0.50%ノ
デハ慣ルレバ耐ヘ得ルニ至ル。

試験方法

鐵管ヲ塵芥投棄場ニ打チ込ミ、之ヨリ捕
氣罐中ニ瓦斯ヲ導キ定規硫酸0.5ccヲ入レ、

蟻ヲ廻轉シツツ良ク振盪シ蟻中ノ「アムモニア」ヲ悉ク吸收セシメタリ。コノ「アムモニア」ヲ吸收セル硫酸溶液ニ苛性曹達溶液ヲ加ヘテ弱「アルカリ」性トナシ、之ニネスレル試薬ヲ入レ一般水中ノ NH_3 定量法ニ

準ジ比色法ニ依リテ定量セリ。

試驗成績

塵芥投棄場ノ各層ヨリ發生セル「アムモニア」量ハ次ノ如シ。

瓦葺採取層ノ深サ	3cm	2m	4m	7m	地表ヨリ60cm上層
NH_3 量	0.0390/100	3.6150/100	6.030/100	0.06830/100	0.05620/100

第三表ニ示スガ如ク NH_3 發生量ハ表層ハ極メテ少ク、二米突下ハ相當多量ニ發生シ、四米突下即チ醱酵ノ最モ旺盛ナル處ニテハ最多量ニ發生セリ。七米突下ニテハ其發生量ハ次第ニ減少スルヲ見タリ。

ニ就テ試驗セリ。
(1) 醋酸鉛溶液ヲ以テ濡シタル濾紙片ヲ可檢瓦斯中ニ吊下ゲ置キ其黑變セルヲ以テ SH_2 ノ存在ヲ知レリ。
(2) 更ニ「ナトリウムニトロプルシッド」ノ「アムモニア」性溶液ニ濡シタル濾紙片ハ堇紫色ヲ呈セリ。之ニ依リテモ SH_2 ノ存在ヲ知レリ。

第六節 硫化水素 (SH_2)

硫化水素ハ有機物ノ分解ニ依リテ生ジ、普通便所、下水等ノ周圍ノ空氣中ニ存在ス。普通ニテハ大害ナケレドモ時トシテハ中毒ヲオコスコトアリ。0.10/100マデ其中ニ耐ヘ得ラルレドモ長ク居ルトキハ諸粘膜ノ刺戟症狀ヲ呈シ、倦怠、頭痛、眩暈、嘔吐等ヲキタシ、多量ニ存在スレバ卒倒スルコトアリ。

定量方法

捕氣蟻中ニ1/100定規沃度溶液ヲ50cc入レ蟻ヲ廻轉シツ、良ク振盪シテ蟻中ノ SH_2 ヲ悉ク沃度溶液ニ吸收セシメテ「Iodometric」ニヨリテ測定セリ。

試驗方法

定性試驗

瓦斯採取鐵管ヨリ捕氣蟻ニ採取セル瓦斯ハ次ノ如シ。

試驗成績

塵芥投棄場ノ各層ヨリ發生セル SH_2 量ハ次ノ如シ。

第四表

瓦葺採取層ノ深サ	3cm	2m	4m	7m	地表ヨリ60cm上層
SH_2 量	0.0740/100	0.1470/100	0.1490/100	0.0870/100	0.0730/100

第四表ニ示スガ如ク表層ニ於イテハ SH_2 ノ發生量ハ、極メテ少ク、深層ニ進ムニ連レテ其發生量ヲ増加シ、二米突竝ニ四米突下即チ醱酵ノ最モ旺盛ナル層ニ於イテハ多量ニ發生ス。之ヨリ以下ノ層ハ次第ニ其量ヲ減少スルヲ見タリ。硫化水素ハ他ノ瓦斯ニ比シテ其發生量ハ少ナカリキ。

試驗方法

斯ノ存在スルモノナルベクタメニ自然發火ニ際シ、發火ノ誘引トナルモノハコノ燃燒性瓦斯ノ存在ニヨルモノト思惟セラル。

コノ燃燒性瓦斯ハ燃燒法ニ依リテ定量セリ。即チHaldane氏裝置ニヨレリ。

第七節 燃燒性瓦斯

試驗成績

塵芥投棄場ヨリ發生セル瓦斯中ニハ炭化水素瓦斯即チ「メタン」「エタン」等燃燒性瓦斯ノ如シ。

第五表

瓦葺採取層ノ深サ	3cm	2m	4m	7m	地表ヨリ60cm上層
燃燒性瓦斯量	3.4—4.4%	4.4—5.5%	5—5.5%	1.1—2.7%	—

第五表ニ示スガ如ク表層ニテモ燃燒性瓦斯ハ多量ニ存在シ、二米突、四米突下ノ層ハ最多量ニ存在ス。即チ醱酵ノ旺盛ナル層ニ於イテハ最多量ニ存在セリ。然ルニ地表ニテハ燃燒性瓦斯ノ存在ヲ認めザリキ。

附言

此塵芥投棄場ヨリ半町程隔リタル處ニ前

述ノ新聞記事中ニ見ラルル小學校アリ。コノ小學校ノ庭園ニ樹木ヲ植エタルニ中々生長セズ。大抵ハ枯死セリ。之ハ海岸近クナル爲メニ潮風ニ依ルモノト思ヒ、海風ニ當リテ生長セル樹木ヲ此處ニ移植シタルニ數ヶ月ニシテ之等モ亦枯死セリ。然ルニ建築物ノ蔭ニ在リテ東風ノ影響ヲ餘リ蒙ラザル

處ニハ樹木ハ生長セリ。之ハ塵芥投棄場ノ上ヲ吹き來ル海風ノ影響ナリト思惟セラ。即チ塵芥投棄場ヨリ發生セル瓦斯ガ植物ニモ有害ニシテ其發育ヲ阻止セシメタルニ由ルコトハ明カナリ。尙同小學校ノ校長ノ經驗ニ依レバ、樹木中此處ニ生長シ得ルモノハ「タマツバキ」、「山桑」、「グミ」、「ハナナス」等ナリト。

考察

四十餘年間塵芥ヲ投棄シ堆積セル場所ノ各層ヨリ發生セル瓦斯ニ就テ分析試驗ヲ行

ヒタル結果、炭酸瓦斯、酸化炭素、「アムモニア」、硫化水素、燃燒性瓦斯等ヲ證明シ得タリ、是等ノ諸瓦斯ニ就テ其發生狀態ヲ見ルニ酸化炭素ヲ除ク總テノ瓦斯ハ醗酵ノ最モ旺盛ナル層ヨリ多量ニ發生スルヲ見タリ。然ルニ酸化炭素ハ醗酵ノ最モ旺盛ナル處ヨリモ尙下層ニ於イテ多量ニ發生スルヲ見タリ。其發生セル瓦斯中炭酸瓦斯ハ最モ多量ニ發生シ次ハ「アムモニア」、燃燒性瓦斯、酸化炭素ノ順序ニ發生量少ク、硫化水素ハ最少量ナリキ。是等ノ瓦斯ハ有毒性瓦斯ニシテ尙是等ノ瓦斯ノ混在スルトキハ其毒性ハ更ニ強カルベシ。就中酸化炭素ハ猛毒ナルコトハ既ニ述ベタル如クニシテ、而モ中毒ヲ起シ得ルニ充分ナル量發生シ居レ

リ。又植物モ此瓦斯ニ曝サル時ハ枯死スルヲ見タリ。加之此瓦斯ハ極メテ惡臭ナリキ。故ニ前述ノ新聞記事モ信ジ得ベキ點多シト思惟セラル。

此處ニ於イテ按ズルニ塵芥ヲ陸上ニ投棄スル際ニ其處ニ發生セル瓦斯ハ人體竝ニ動物體ノミナラズ植物ニモ有害ナリ。尙且ツ塵芥ヲ以テ埋立テタル土地ニ家屋ヲ建築シ居住スル場合ハ保健上極メテ考慮ヲ要スルモノナルコトヲ窺知シ得。

總括竝ニ結論

函館市塵芥投棄場ヨリ發生セル瓦斯ノ分析ニ當リ次ノ如キ成績ヲ得タリ。

(1) 臭氣ハ極メテ惡臭ニシテ獨特ノ腐敗臭ニシテ刺激性ヲ有ス。

(2) 炭酸瓦斯ハ發生瓦斯中最多量ニシテ、特ニ醗酵ノ旺盛ナル層、即チ四米突下ハ最モ多量ニ發生ス。深層ニ行クニ從ツテ發生量ハ減少セリ。

(3) 酸化炭素ハ表層ニ於イテモ尙發生シ、醗酵ノ旺盛ナル層ニ至ルニ隨ヒ次第ニ其量ヲ増加シ、尙更ニ深層即チ七米突下ハ其最多量ヲ發生セルヲ見タリ。然ルニ最深部ニハソノ發生ヲ見ザリキ。之ハ他ノ瓦斯ト趣ヲ異ニスル處ナリ。

(4) 「アムモニア」ハ其發生量ハ炭酸瓦斯

ニ次イデ多量ニ發生セリ。醗酵ノ最モ旺盛ナル層ニ於イテハ其發生量最モ多ク、其レ以下ノ深層ニ行クニ從ヒ其量ヲ減少セリ。然レドモ最深層ニ於イテモ尙存在セリ。

(5) 硫化水素ハ發生瓦斯中最少量ナリキ。醗酵ノ旺盛ナル層竝ニ其レ以上ノ層ニテハ最多量ニ發生シ、ソレ以下ノ層ニテハ次第ニ其量ヲ減少セリ。然レドモ最深層ニ於イテモ尙存在セリ。

(6) 燃燒性瓦斯ハ多量ニ發生セリ、醗酵ノ最モ旺盛ナル層ニ於イテハ最多量ニ發生スレドモ、コレ以上ノ層ニテハ略同量ノ發生量ヲ見タリ。尙深層ニ行クニ從ヒ、ソノ發生量ヲ減少シ最深層ニ於イテハ其發生ヲ見ザリキ。

(7) 塵芥投棄場ヨリ發生セル瓦斯ハ以上ノ瓦斯ノ混合ナル故ニ極メテ有毒ナリ。就中猛毒ナル酸化炭素ヲ發生スルコトハ注意ヲ要ス

摺筆スルニ臨ミ御指導ト御校閲トヲ賜リタル恩師井上教授ニ深甚ノ謝意ヲ表シ竝ニ本研究ニ於テ多大ノ御援助ヲ與ヘラレシ北海道廳衛生課長木村眞之助博士、函館警察署ノ御厚志ニ對シ深ク感謝ノ意ヲ表ス。

文獻

(1) 木村、青木、佐々木……北海道醫學雜

誌第一〇年第五號。(2) 岡崎……國民衛生、第四卷一二五一頁。(3) 函館毎日新聞……第一一四二四號、昭和六年四月八日。(4) 函館新聞……第一二八二三號、昭和六年四月一二日。(5) 函館新聞……第一二八二七號、昭和六年四月十六日。(6) 函館新聞……第一二八二八號、昭和六年四月十七日。(7) Park: Public Health and Hygiene 1928, p. 298. (8) 森田、西村……國民衛生、第三卷、第九號、一三〇九頁。(9) 森田……日本微生物學會雜誌、第一六卷、第一一號、一二號。(10) 爲野……國民衛生、第六卷、一一九四頁。(11) 西村……國民衛生、第四卷、三三六頁。(12) 家原……國民衛生、第三卷、一四九七頁。